その結果、

82カ所に及ぶ

改修・改善の必要ある箇所

危険箇所の総点検活動を実

公明党は、市内道路

ある。

要望箇所は、次のとおりで

の指摘があった。それらの

②歩道拡幅改修

①カーブミラ

設置18カ所

③道路整備

5カ所 11 カ 所

8道路標識設置及び改善

10 カ所

に立っての総点検というこ 特に地域での利用者の視点

⑤公園整備 ④道路照明灯設置

3 カ 所

9カ所

⑦駐車問題

(指導・改善)

8カ所

が道路危険箇所の総点検活

公明党さん

対処してまいりたいと思い

急度の高いところから順次 認・調査いたしまして、 目につきまして、現地を確

緊

充実のために、

、研修や資器

動をされたことに対しまし

深く敬意を表します。

道路は申すまでもなく、

は、現地を確認するなどし、 摘のあった所につきまして すく、ご指

また、

関係機関とともに協

議をしながら、取り組みに

⑥信号機設置・改修7カ所

と思うが、市の考えはどう早急な対応をお願いしたいその他、11項目である。

料をもとに、ご指摘の82項 とでありますので、この資 する調べと、予算措置の考 議員 競艇事業収益金に関

> 年度は、3年に一 市民生活部長 来

な経費の財源に充ててまい 祉の増進を図るために必要 展、医療の普及や住民の福 については、 は、教育文化の発競艇事業配分金

算措置をしてまいります。 の配分計画を確認して、 は、戸田競艇組合の15年度 また、予算措置について

住民型ミニ公募債は

討経過は。

税収減となります。

総合政策部長

平成18年度

ついての、

本市における検

ニ公募債に

議員

通じて、資金調達手法の多 債の個人消化及び公募化を 高揚を図るとともに、地方 市民の行政への参加意識の 協議制になることを踏まえ、 たっては今後、検討してい 達の手段として、発行に当 様化を図る、新たな資金調 きたいと考えています。 起債発行の許可制が

評価替えに当たるが、税収 への見通しは。 来年は固定資産税の

めます。

方向性は、第5

委員会で最終計画案をまと

く土地がほとんどとなり 落を見ており、こ 対前年同期比較で 評価替えの年に当 税標準額の割合で 評価額に対する課 ある負担水準割合 れにより、 4・3%程度の下 土地については、 税負担を据え置 土地の

ることから、 場・農地が住宅用地に換わ 一方、宅地化の進展に伴 工場・倉庫跡地や駐車 減収の要因に

あり、 れます。 屋は多少下落すると考えて 少ないと見込んでいます。 いますが、大規模な建設も つながる傾向にあると思わ 償却資産については、新 家屋については、在来家 全体として減少幅は

の1・2%の増を予定して 予想しています。 り、多少の増が見込めると 規に大規模な設備投資があ 全体としては、当初予算

> 画に取り入れられます。 ことで最大限尊重され、 ンセプトの設定に反映する 開催の意見は、上部利用コ

ま計

た、12月18日の最終の検討

度の土地、家屋の 荒川処理センター

『語歴別用の今後は

議員

間を要し、第8系列の整備 でが完了するには相当の期 の覆蓋整備から利用整備ま

急行動計画「菖蒲川・笹目 指す、第二期水環境改善緊

川清流ルネッサンスⅡ地域

都市整備部長 ①菖蒲川及

び笹目川等の水質改善を目

後、上部利用空間の部分整

協議会の中で本市等の要望

により、荒川左岸排水路が

足、同年9月の第2回地域 協議会」が、14年2月に発

対象河川に追加されました。

今後、

行動計画の策定に

周辺対策について

て護岸整備工事を進めてま

所から順次、

上流に向かっ

②本年度から、 寄与いたします

笹目川合流

部付近と天王橋付近の2カ

②沿道の整備につい いて。



▲上部利用については、市民の声を最大限に尊重

的な利用が出来るように うに、積極的に働きかけを 支援を最大限受けられるよ 市民の皆様のご要望にお応 用整備までの期間は、暫定 備を進めるよう県に働きか け、最終的に第7系列の利 さらに、国・県の理解と

えしていく考えです。

①河川浄化対策につ

橋までは、処理場の上部利 用の整備状況とも整合を図

総合政策部長

1

いたします。

けについて。
④国・県への補助の働きか
③戸田市の方向性について。

②検討委員会の進捗状況は。

の意見反映について。

① ワ ー

クショップで

保も併せ、 中で検討します。 検討します。子ど リンクさせるよう 道を彩湖・道満グ 事事務所と協議を 王橋間の既存遊歩 行い、野竹橋と天 いては荒川上流工 も達の遊び場の ーンパークまで それ以上につ

震災に強い人司公

の充実が、災害に強い人づ の意識の高揚、自主防災会

くり、地域づくりには欠か

か。会との連携についてはどう

のように考えているか。 進めていくために、

ついても、

一層の努力をし

ていきます。

「自助」、「共助」を

市はど

事業者の方々との連携に

また、事業所と自主防災

議員

総務部長

市民一人ひとり

どの程度進んでいるか。

公共施設の耐震化は、

総務部長

13年度までに、

小・中学校で17件中7件、

▲安全で快適な道路に

を受け、市はどのように対震災予防のまちづくり条例 応しようとしているのか。 このほど制定された埼玉県 員 阪神大震災から8年。

いきます。 らに県等との連携を深めて 進めることはもちろん、 総務部長 市独自の施策を さ

意義を高めていくことを重であり、「自助」、「共助」の ず活動するのは住民の方々 組織の充実に努めます。 点に、意識啓発、自主防災 ま

まで目が行き届かない現状

となっております。

このたび、党を挙げて

に努めておりますが、隅々り、良好な道路環境の保全

ているので、その節はよろ目の総点検を行う予定にし

来年早々に、第2回

しくお願いしたい

路パトロールの強化等によ

市といたしましても、道

各危険質所総点検で

ません。

たいと考えております。 つきまして推進してまいり

快適なものでなくてはなり 用する市民にとって安全で 本的な基盤施設として、利 日常生活に密着した最も基

また、 災害発生時に、

て指導者の養成を図ってい

▲日頃から、一人ひとりが防災意識を

後、地域のついては、今 **伺いながら、** 方々の意向を たしたい。 検討課題とい 検討してまい ては、今後の 名称変更に

件が補強を終了。今後も順 その他の施設で、7件中2 進めていきます

せないと考えます

具体的には、

広報紙をは

じめ、各種の取り組みをす

るとともに、自主防災会の

荒川左岸排水路について

議員 格上げし、新たな名称を付 けることについてどう考え 河川法適用の河川に るか

指導等のほか、県と連携し 材購入の補助、防災訓練の

格上げにつ

また、外郭環状線幸魂大